

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.6.2	会 場	栃木県体育館		桐 生 第 一	14	17	31	21		83
審 判	(主) 渡邊 諭	(副) 佐藤 優樹	横山 則男		日 大 三	23	19	13	23		78

桐生第一高等学校(群馬)

コーチ 岡田 研司 A・コーチ 鳥海 友見 マネジャー

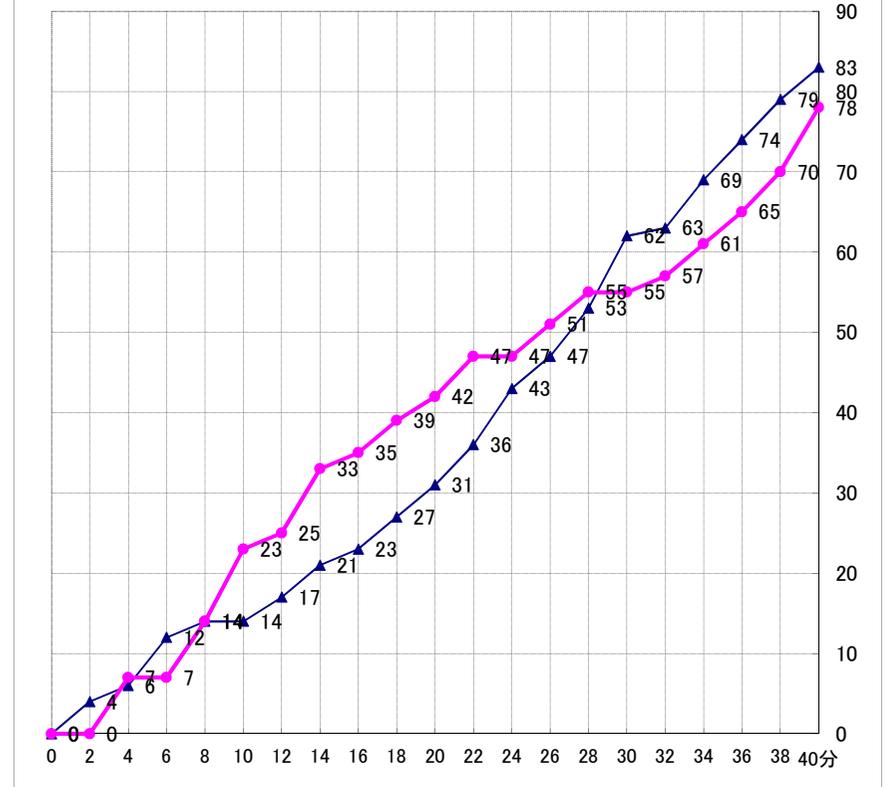
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
萩原 結允	4	12	0	6	5	9	2	4	3	1	2	3
松山 寿人	5	10	0	1	3	8	4	6	3	2	3	5
大都 惟	6	11	3	10	1	6	0	0	3	0	0	0
水島 準哉	7	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1
佐藤 大介	8	26	0	0	13	21	0	1	3	6	5	11
神保 拓海	9											
攪上 翼	10											
石塚 世那	11											
石川 弘人	12											
小島 龍芽	13											
東條 慶	14	11	1	1	4	11	0	2	0	1	1	2
奥山 颯太	15	11	1	4	3	10	2	2	2	5	7	12
堀部 悠斗	16	2	0	1	1	3	0	0	1	4	4	8
松本 一真	17											
岩崎 隆恭	18											
チーム									0	1	2	3
合計		83	5	24	30	69	8	15	16	21	24	45
		成功率	20.8%		43.5%		53.3%					

日本大学第三高等学校(東京)

コーチ 川越 理 A・コーチ 松井 悟 マネジャー 長谷川 颯太

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
高木 優太	4	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	3
日名子 碩	5	16	1	4	5	15	3	3	5	0	2	2
新納 光祐	6	5	0	0	2	4	1	2	3	2	11	13
片岡 霞	7	43	2	2	16	26	5	7	2	7	11	18
石原 啓斗	8											
大野 凌汰	9											
武藤 優汰	10	2	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0
豊福 海人	11	1	0	0	0	5	1	2	3	0	1	1
須永 知史	12	11	3	6	1	1	0	0	3	1	0	1
鈴木 橋平	13	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
細野 颯	14											
小島 舜平	15											
熊谷 威輝	16											
川田 大翔	17											
市川 康輝	18											
チーム									0	1	9	10
合計		78	6	19	25	56	10	14	16	13	35	48
		成功率	31.6%		44.6%		71.4%					

得点経過



戦評

1Q両チームともにハーフコートマンツーマンの激しいディフェンス。お互いに難しいシュートを打たされなかなか得点が伸びない。桐生第一は堅守速攻から得点を伸ばす。日大三は#5日名子が果敢にゴール下を攻めファウルを誘いフリースロー。これを皮切りに、3Pを含む4連続得点、14対23日大三9点リードで終了

2Qお互いの堅守を早い展開で打開しようという展開。桐生第一は#4萩原、#14東條のドライブでチャンスを作り、#8佐藤の高さで得点を重ねる。しかし、日大三の守りは固くなかなか差が縮まらない。日大三も桐生第一の守りに苦戦しつつも#12須永#5日名子の3P、#7片岡のゴール下から得点を重ね11点リードで前半を終える。

3Q桐生第一#8佐藤と日大三#7片岡の激しい攻防から幕が開ける。開始4分桐生第一#15奥山の3Pをきっかけにして#8佐藤が2連続得点と続き2点差とする。悪い流れを断ち切りたい日大三はここでタイムアウト。それでも流れは桐生第一。#15小島がフリースローを決め同点とすると#8佐藤が逆転。その後日大三の猛攻に合うも着実に得点を重ね7点差リードで終了。桐生第一#8佐藤はこのクォーター16得点と逆転に大きく貢献した。

4Q両チームとも攻守の激しさを増す中、日大三はマンツーマンと2-3ゾーンを使い分けるシステムに変更。オフェンスでは#7片岡が得点を伸ばす。桐生第一は速攻を中心に反撃し点差を守る。残り15秒、日大三#7片岡、#12須永の2連続3Pで3点差に詰め寄せると桐生第一すかさずタイムアウト。日大三はファウルゲームを仕掛けるが、桐生第一にフリースローを与える。#15奥山が冷静に決めて5点差とする。日大三は速い攻めから#13鈴木が3Pを放つが決まらず、リバウンドを桐生第一が保持してタイムアップ。桐生第一が83対78で次に駒を進めた。

両チームとも強固なディフェンスとセンターの得点力が光る好ゲームであった。

記入者 鶴見 拓俊